

オープンデータセミナー in しまね



総務省

～使おう！変幻自在のオープンデータ～

近年、国や地方自治体が保有する多様な公共データを二次利用可能な形式で公開し、新たなビジネスモデルの創出に結びつけようという動きが注目を浴びています。

本セミナーでは、オープンデータを取り巻く現状や課題、また、その魅力や利活用のアイデアなどについて、様々な視点から探って参ります。

参加
無料
※裏面にて
お申込み

●日時 平成 26年 11月20日(木) 14:00～16:50
(受付13:30)

会場 松江テルサ 4F大会議室 (松江市朝日町478-18 JR松江駅北口徒歩1分)

対象 地方自治体、ICT企業・団体のほか、
オープンデータの利活用に関心がおありの方

定員 100名
(先着順)

【主催者挨拶】 総務省中国総合通信局長 黒瀬 泰平

基調講演

『オープンデータ：公開からインパクトへ』



川島 宏一 氏

(政府IT総合戦略本部電子行政オープンデータ実務者会議
構成員／佐賀県特別顧問／株式会社公共イノベーション
代表取締役)

2012年7月IT総合戦略本部が電子行政オープンデータ戦略を公表して以来、政府・自治体は公共データの公開を進めており、本年10月1日、政府データカタログ本格版が公開され、多くの先進的自治体もデータカタログサイト公開を進めています。これから、オープンデータ運動は、公開から利活用に向かって、どのような方向へ展開されるのかご講演いただきます。

自治体
事例紹介

『千葉市が取り組むビッグデータ／
オープンデータ施策群』



三木 浩平 氏 (千葉市総務局次長(CIO補佐監))

千葉市では、市民サービスの向上、市民主体のまちづくりの促進、産業の発展等に寄与するため、公共機関等が保有するビッグデータ、オープンデータの公開、利活用に向けた取組みを行っています。公共分野に存在するデータとその活用方法、千葉市のビッグデータ・オープンデータに関わる施策、将来の活用可能性などについてご講演いただきます。

★ トークセッション ★

～オープンデータの活用による
社会的価値の創生～

●コーディネーター 国立大学法人島根大学 法文学部 教授 野田 哲夫 氏
< 参加機関 > 松江市政策企画課、株式会社ネットワーク応用通信研究所、株式会社テクノプロジェクト

新世代通信網テストベッド「JGN-X」の取組紹介

独立行政法人情報通信研究機構 テストベッド研究開発推進センター
テストベッド構築企画室 参事 小村 和司 氏

